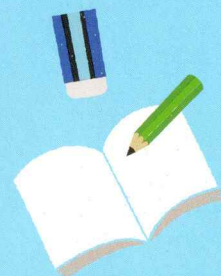
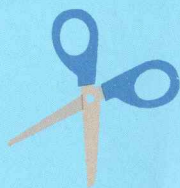
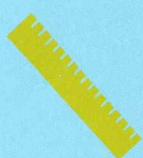


特別支援学校の センター的機能



北九州市教育委員会

特別支援学校のセンター的機能の5つの取組

1 訪問相談・来校相談	○ 学校・園等の子どもへの支援や指導方法についての相談 ○ 校内支援体制や個別の指導計画作成についての支援 ○ ケース会議等への参加
2 移行支援	○ 小学校就学に向けた支援 ○ 中学校進学に向けた支援 ○ 個別の教育支援計画の作成や活用についての相談
3 公開研修会の開催	○ 学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修会や教材教具活用展等を公開
4 研修会等への協力	○ 学校・園等の校内研修会についての相談、協力 ○ 特別支援教育コーディネーター連絡会議に、助言者として参加
5 教材等の紹介・貸出	○ 検査器具、書籍、教材等の紹介や貸出 ○ 検査後の結果処理や指導に生かす方法の相談 ○ ホームページ等で、センター的機能に関する情報や教材等の紹介

1 訪問相談・来校相談

- 学校・園等を訪問し、行動観察等による実態整理を行い、課題と取組の方向性を明確にします。また、校内支援体制や個別の指導計画作成への支援、子どもへの支援や指導方法等について相談に応じます。
- 必要に応じてケース会議等の出席や関係機関等の紹介をします。
- 来校する学校・園等の職員・保護者の相談を聞き、実態を整理し、課題と取組の方向性を明確にして在籍校・園等での指導に生かします。

訪問相談の流れ

①支援要請

- ・校長間の連絡
- ・Co 間の連絡
- ・訪問相談チェックシート

②学校訪問

- ・行動観察等による課題の整理
- ・協議会
- ・個別の教育支援計画等への助言
- ・課題解決に向けた取組の提案

③支援の継続

- ・支援の評価
- ・引継ぎに関する助言

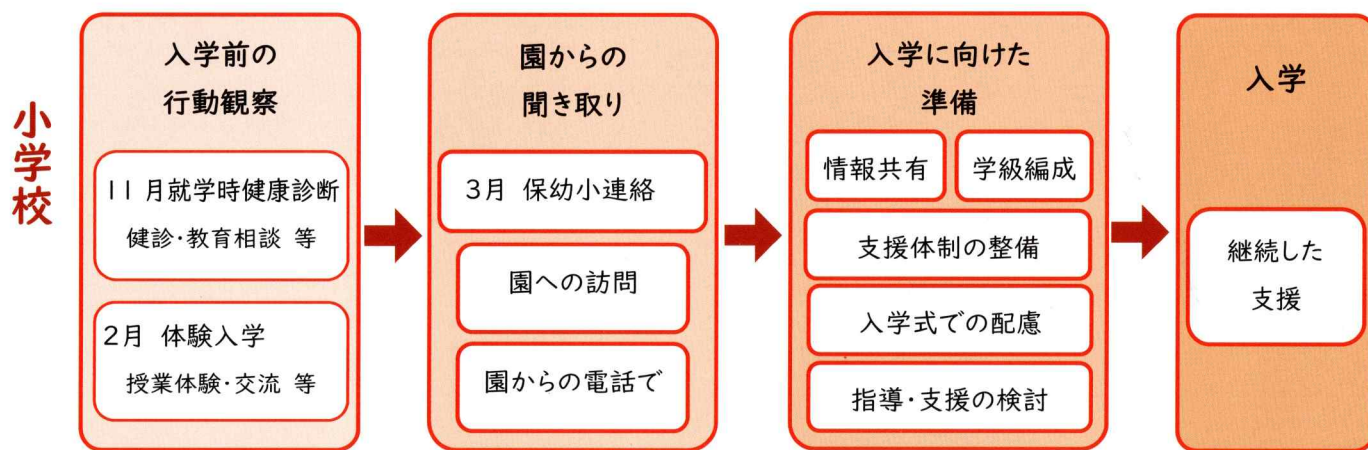


※ 要請時に必要な【訪問相談チェックシート】は、各地区の特別支援学校のHPからダウンロードできます。
詳しくは、担当の特別支援学校までご連絡ください。

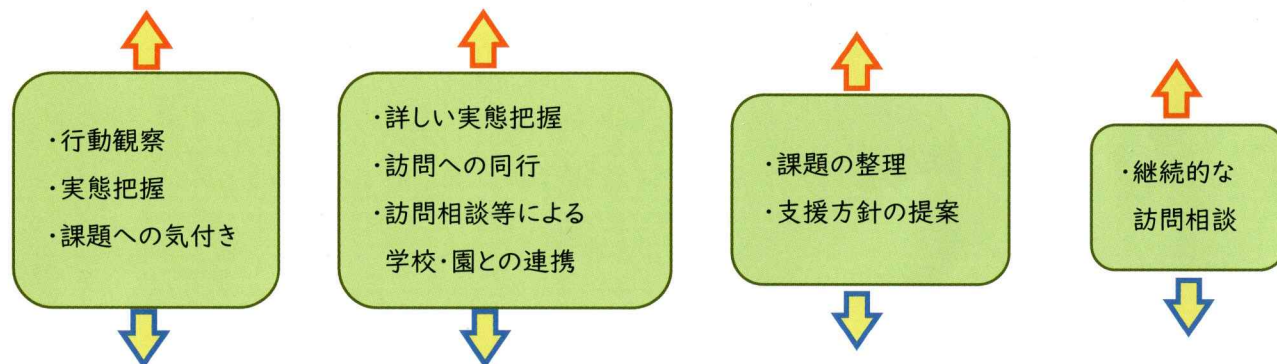
2 移行支援

幼稚園・保育所等から小学校への移行支援（就学時移行支援）

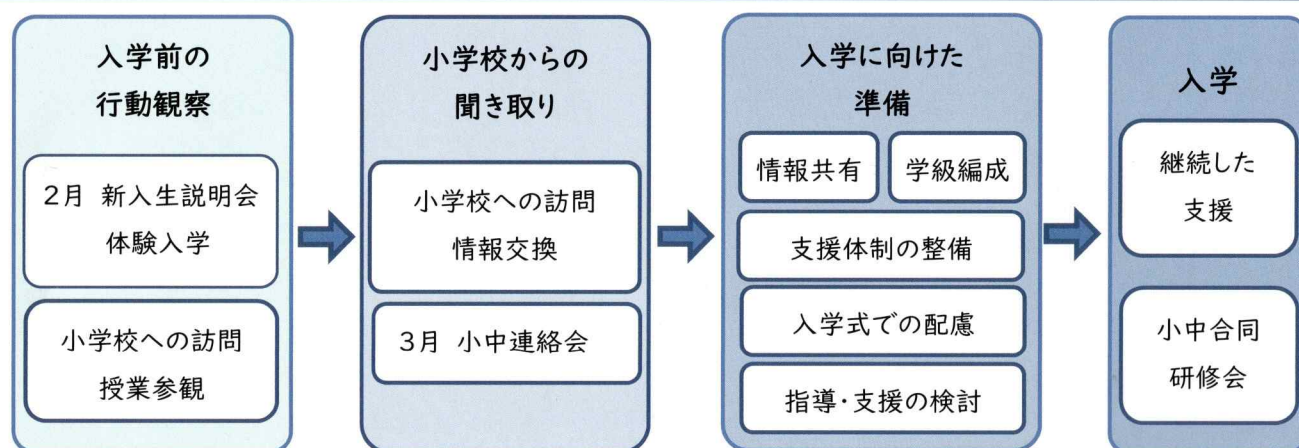
- ・ 小学校の要請に応じて就学時健康診断や体験入学での行動観察、保幼小連絡会への参加等を行い、幼稚園・保育所等から小学校へのスムーズな移行を支援します。



特別支援学校



中学校



小学校から中学校への移行支援

- ・ 中学校の要請に応じて小学6年生の授業場面での行動観察の同行、情報交換会参加等を行い、小学校から中学校へのスムーズな移行を支援します。

3 公開研修会等の開催

- 学校・園等の教職員を対象に、特別支援教育に関する研修等を公開します。
令和3年度の様子をご紹介します。

**「不器用な子のための学びにつながる感覚運動」をテーマに、
講演・ワークショップを行いました。**

日時：令和3年7月27日（火）14:00～17:00

参加者：幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校職員 計 210 名

方法：「Microsoft Teams」による開催（個別・集合型）

内容：1 講演 北九州市立門司病院 作業療法士 山本隆啓 氏
2 ワークショップ

- ① 一斉指導で活用できる教材の紹介「パワーポイント教材」
- ② 個別指導で活用できる教材の紹介と作成
 - ・ 目の動きのトレーニング「目のジャンプ」
 - ・ 目と手の協応動作を育てる「わくわく迷路」
 - ・ 聞いて見てタッチしよう「さがしてタッチ」 他

～参加者の感想～

- オンライン研修は初めてだったので不安でしたが、具体的な動きが見えて分かりやすかったです。また、学びにつながる感覚運動について具体的な話がうかがえたので、二学期の指導に生かせそうです。
- 姿勢が気になる児童や列に並べない児童など、普段の生活を送る中で気になる児童がいますが、どうしてそのような行動として表れるのかが分かりました。できていること、頑張っていることを認めるようにしようと思いました。
- ワークショップでは、教材の実際の使い方の説明が、とても参考になりました。材料も低価格で手軽に揃えやすく、簡単に作れるので、助かりました。作った教材を、二学期に児童と使ってみて、自分なりに改良を加えたいと思います。
- PP教材では、デジタル教材に興味をもっている子どもたちが多いので、ぜひ利用させていただきたいと思いました。カタカナや漢字の学習になると、一気にテンションが下がってしまう子どもたちですが、この教材で学習すると楽しく学習でき集中力も継続すると思いました。
- 大変勉強になったので是非また開催してほしいです。実際にすぐに授業で活用できる教材ばかりで楽しかったです。iPadを使った教材も活用してみます。



4 研修会等への協力

- 学校・園等の校内の研修会についてのご相談に応じます。
 - ・ 学校のニーズに応じて、研修会の内容などを一緒に考えます。
 - ・ ご依頼の内容によっては、情報提供や関係機関等をご紹介します。

※ 詳しくは、担当の特別支援学校にご相談ください。



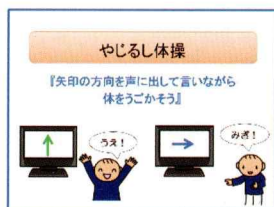
5 教材の紹介や貸出、情報発信

○ 公開研修会で作成・紹介した教材です。

一斉指導で活用できる パワーポイント教材

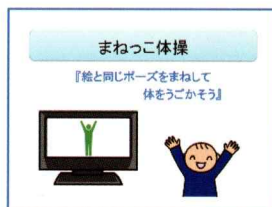
集中力を高めたり、見る力を養ったりする教材です。朝自習や学習の導入時など、短い時間で活用ができます。

やじるし体操



身体面における不器用さの改善にもつながります。
目で見て考え身体を動かすことで、行動や感情のコントロールの力を育てます。

まねっこ体操



どこにあったかな



記憶、注意、知覚等の認知機能の強化につながります。

かくれているものなあに



注意、知覚、推論・判断等の認知機能の強化にもつながります。

ビジョントレーニング 「目のジャンプ」



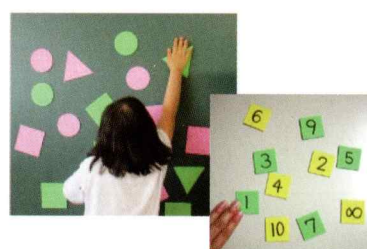
読み飛ばしがある、板書が難しい等の子どもたちが、目を動かして物をしっかりと見る練習をするための教材です。目の筋肉を意識して動かすことで見る力を鍛えます。

わくわく めいろ



迷路を楽しみながら、目と手の協応動作を高めます。
磁石を動かすために鉛筆をもち続けなくてはならないので、集中力を高めることにもつながります。

さがしてタッチ



目で探す力、聞いて覚える力、目標のところに体を動かす力を育てる教材です。「かたちタッチ」と「すうじタッチ」の2種類があります。

ラダートレーニング



全身を駆使した運動を繰り返すことで、バランス感覚やコントロール感覚を養います。

センサリーバッグ



袋にジェル状の液体とキラキラしたものを入れ、ムニムニともんだり、押ししたり、つまんだりして「触覚」遊びを楽しむ教材です。

iPad で作るデジタル教材 「まねるんです」de ラジオ体操



iPad の「まねるんです」アプリを使用したビデオモデリング教材です。動作模倣が苦手な子どもたちも主体的に学べます。

○ 検査器具・書籍・教材等の貸出については、各地区の特別支援学校にご相談ください。

検査器具：田中ビネー-V、WISC-IV、DN-CAS、LDI-R、絵画語彙検査、WAVES、

LCSA、STRAW-R、森田-愛媛式読み書き検査など

※ 特別支援学校のホームページにも作り方等を紹介しています。ご活用ください。

特別支援教育相談センターと特別支援学校のセンター的機能との連携及び役割

子どもや学校に対する三段階の支援



教育的ニーズに対応する役割に応じた相談支援体制

特別支援教育相談センター

- 〈相談〉 巡回相談・教育相談・通級相談・就学相談・
早期相談
- 〈役割〉 教育の場の検討に関する情報提供や相談
関係機関等との連携による支援
学級経営等への指導・助言
校内支援体制の充実に対する指導・助言
苦慮している状況についての実態把握

特別支援学校のセンター的機能

- 〈取組〉 センターの機能の 5 つの取組 (2 ページ)
- 〈役割〉 学習の状況や生活上の課題についての実態把握
集団内での配慮や工夫に関する助言
苦慮する子どもを生み出さない取組への支援
状況改善のための教材・教具の提案

「三段階の支援の図」については、石隈利紀「学校心理学」1999を参考に改編。

特別支援学校8校の連絡先

	学 校 名	住 所・電 話
東部地区 (門司区・小倉北区・小倉南区・戸畑区・八幡東区)	● 門司総合特別支援学校 【知的障害・病弱(心身症等)】	門司区矢筈町13番1号 TEL 372-6631
	小倉北特別支援学校【知的障害】	小倉北区下到津四丁目3番1号 TEL 592-2103
	小倉総合特別支援学校 【肢体不自由・病弱(慢性疾患等)】	小倉南区春ヶ丘10番3号 TEL 921-0075
	小倉南特別支援学校【知的障害】	小倉南区若園四丁目1番1号 TEL 921-5511
	北九州中央高等学園【知的障害】	戸畑区沢見一丁目3番47号 TEL 861-0112
西部地区 (八幡西区・若松区)	● 小池特別支援学校【知的障害】	若松区大字小敷583番地の1 TEL 601-1298
	八幡特別支援学校【知的障害】	八幡西区鷹の巣三丁目7番1号 TEL 641-8675
	八幡西特別支援学校【肢体不自由】	八幡西区下上津役四丁目8番2号 TEL 612-2210

● 代表校